鬼石中だより

自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和5年度学校だより　第10号
令和６年３月１４日
文責：校長　永田

＊ 第38回卒業式 3/13＊

令和６年３月１３日（水）、藤岡市立鬼石中学校第３８回卒業式を挙行し、２３名の生徒が巣立ちました。今年度は、来賓として、PTA会長様、地元市議会議員様をはじめ、鬼石地区の区長会、民生児童委員協議会、更生保護女性会の代表の皆様にご臨席いただくと共に、学校運営協議会及びたくさんの保護者の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

卒業生は、緊張感をもって臨み、在校生と共に立派に式をつくり上げました。思いのこもった送辞・答辞、心にしみる式歌や３年生合唱を聴き、鬼石中学校の伝統がしっかりと受け継がれていくことを感じました。

校長式辞では、「夢が人生をつくる」という話をさせていただきました。二刀流で活躍する大谷翔平選手が一流の選手であることは誰もが知っていることですが、彼の人柄や生き方は多くの人々に感動を与えています。それは、恵まれた体格や才能だけでなく、彼の学生時代からの夢と目標があったからこそのことだと思います。具体目標の中には、野球選手としてのスキルを高めるためのトレーニングだけでなく、人間性を高める必要があると考え、礼儀、感謝、思いやり、さらには、あいさつやゴミ拾いが書かれていました。彼の人柄や生き方はこのようなところからきているのだと思います。まさに「人生が夢をつくるのではなく、夢がその人の人生をつくる」という生き方のわかりやすいお手本のようにさえ感じます。生徒には、夢や目標がすでにある人、まだない人もいると思います。夢がなければ日々の目標でもかまいません。何かしらのめあてをもって生き、豊かな人生を創り上げてほしいと願っています。しかしながら、もしも心が折れそうな出来事があったりしたときには、家族や恩師に「助けて」と言ってほしいですね。何よりも、心と体を大切にしてほしいと思います。

また、ご祝辞として、小坂PTA会長からは、高校生活の中で自立に向かって頑張ってほしいという話がありました。その際、自分を他人と比べるのでなく、以前の自分と比べることが大切であるこ

と、困ったときには家族や仲間などに助けを求めてほしいというお話をいただきました。
　卒業式にご臨席いただいた皆様をはじめ、地域の皆様に見守っていただいたおかげで今日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

＊ 授業参観・PTA年度末総会・学級懇談会 2/29 ＊

　今年度最後の授業参観を行いました。3年生は「学級卒業式」ということで、多くの保護者に見守られる中、生徒一人一人がスピーチを行いました。そのスピーチを聞いて子どもの成長を実感し、涙する保護者の方々もいらっしゃいました。お忙しい中、参観いただきありがとうございました。

3年生（学活）

1年生（社会）

2年生（国語）

　ＰＴＡ年度末総会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。「すべては子どもたちのために」という鬼石中ＰＴＡの基本方針を強く感じました。また、子どもたちの学びの場の充実のためにご尽力いただいた、本部役員、学年委員、すべてのＰＴＡ会員の皆様に心より感謝申し上げます。

PTA年度末総会